

事業所名 シャルム

児童発達支援 支援プログラム

作成日

7年

2月

28日

| | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----------|---------|--|--|
| 法人（事業所）理念 | | 運動が苦手な子供達でも、楽しく体の使い方を身につけ、運動の楽しさを知り自信をつける。心豊かにすくすく育ち、社会へと羽ばたけるよう支援する。 | | | | |
| 支援方針 | | 利用するお子様に合わせて支援を行い、その特性に合わせて個別や集団で支援を行います。トランポリンや鉄棒などの器具を使った運動を行いながら運動能力の向上や、運動を行うことの楽しさなどを身に付けて、楽しく利用できる事業所を目指していきます。運動だけでなく季節ごとに合わせて工作なども行うことで様々な身体の向上を図り、お子様の個性に沿った支援を毎日行います。 | | | | |
| 営業時間 | | 月曜～金曜 12時～17時（長期休み 12時～18時） | 土曜 9時～15時 | 送迎実施の有無 | あり なし | |
| 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | スムーズに事業所を利用して頂くために、来所の際に取り組む流れを伝えていき、生活の部分としてルーティンになるように教えていきます。活動プログラムもお子様たちがわかるように目につく場所に取り組む内容を伝えていき、自立して動けるように教えていきます。 | | | | |
| | 運動・感覚 | トランポリン、鉄棒、跳び箱などの運動器具を使いながら、身体を動かす楽しさや、体幹機能の向上などを目的に支援を行っています。身体を動かすだけでなく製作など細かい動きなども取り入れながら手先の使い方を見ていきます。 | | | | |
| | 認知・行動 | 事業所で取り組む活動は、視覚的や声掛けなどで伝えていきます。視覚的に関してはイラストや写真を使うことでわかりやすく理解しやすいやり方でいい、文字が読めるお子様には写真などに合わせて文章を入れて伝えたりなど、見せて伝えることを意識しています。終わりの時間を伝えるときもタイムタイマーをメインに使い、終わりを伝えるようにしています。また感覚が過敏なお子様に関しての対応で、イヤーマフを準備していただいたり、個室を準備したりと様々なことに対応できる配慮を行っています。 | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 自分の要求や気持ちを伝えたりするなど、生活のなかで必要なスキルをお子様たちの特性に合わせて教えていきます。伝え方がわからなかったり、うまく伝えられないお子様に対して場面に合わせた伝え方を教えて、何度も反復して正しい伝え方を強化しています。また適切な言葉の使い方なども合わせて教えていき、全体的なコミュニケーションの能力をあげていけるような支援を行っています。 | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 集団で活動をする時間を作り、順番、ルールを理解、協調性など人と関わる部分で大事なことを身に付ける機会を作り、社会性の向上を図ります。また自由遊びの時間もお子様同士の様子を見ながら、上手に遊んだり関わっていたりするときは「上手に遊べてるね！」などの誉め言葉を伝えて、成功体験を増やしていけるよう支援していきます。 | | | | |
| 家族支援 | | 送迎に行った際や、半年に1度行う面談のときなどに様々なお話しを行い、常に相談を行える体制を取っています。 | 移行支援 | | 必要に応じて、幼稚園、保育園の先生と担当児童について送迎時にお話しをして、情報共有をしています。 | |
| 地域支援・地域連携 | | お子様の利用されている他の発達支援事業所などと、必要に応じて情報共有する場合があります。 | | 職員の質の向上 | | 外部の研修などに参加をして、その情報を同じ事業所の職員に伝えたりすることで新しい知識を学ぶことがあります。職員間同士で支援方針を確認しながら質の向上に取り組んでいます。 |
| 主な行事等 | | 避難訓練（地震、家事、津波、年2回） | | | | |